

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

23年12月期 決算説明資料

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2024.02.13掲載

2024.02.14説明会開催

2024年3月22日修正_P37

I. 23年12月期 通期業績報告	P. 3~16
II. 24年12月期 通期業績計画	P.17~24
III. 中期経営計画の進捗について	P.25~32
※ 補足資料	P.33~39

I . 23年12月期 通期業績報告

1. 23年12月期の通期業績報告

- 売上高 : 国内海外全セグメントで売上増、対前年 + 9.4%の増収
- 営業利益 : 国内海外全セグメントで利益増、対前年 + 45.0%の増益

2. 24年12月期の通期業績計画

- 売上高 : 3,510億円 (対前年 + 5.5%増収)
- 営業利益 : 190億円 (対前年 + 2.0%増益)

3. 中期経営計画の進捗

- 売上は当初の計画以上の水準で推移
- 営業利益も大きく改善するも、引き続き価値を伴った新商品の発売を加速する必要あり

連結業績の概況



- 売上高 : 国内海外全セグメントで売上増、対前年+9.4%の増収
- 営業利益 : 国内海外全セグメントで利益増、対前年+45.0%の増益

(単位：億円)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
売上高	3,039	3,325	+9.4%
営業利益	128	186	+45.0%
経常利益	136	212	+56.0%
当期純利益	80	141	+74.5%

営業利益率	4.2%	5.6%	—
-------	------	------	---

営業利益の状況



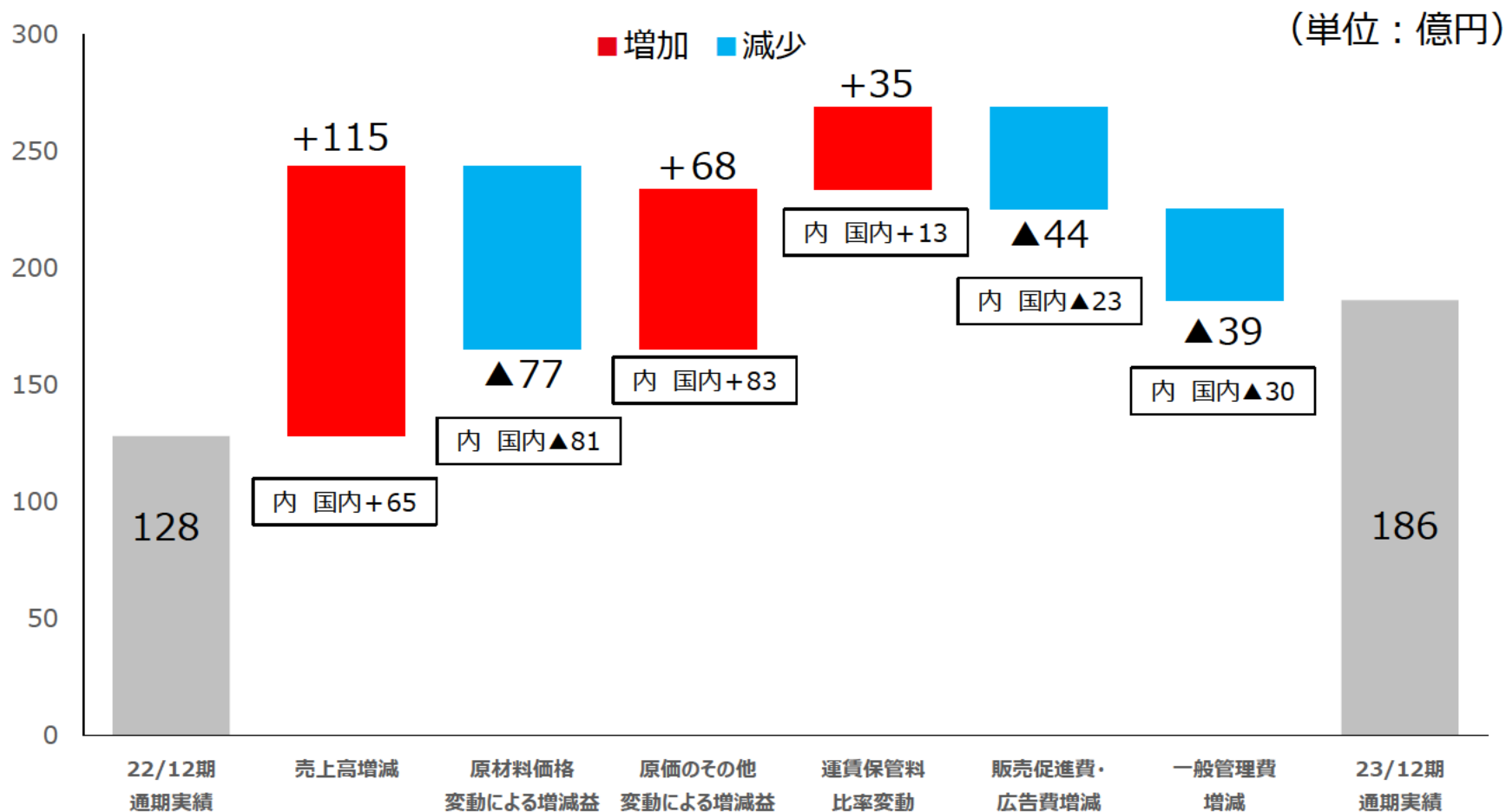
(単位：億円)

	22年12月期		23年12月期	
	通期実績	売上比	通期実績	売上比
売上高	3,039	100.0%	3,325	100.0%
売上原価	1,931	63.6%	2,087	62.8%
売上総利益	1,107	36.4%	1,238	37.2%
運賃保管料	271	8.9%	261	7.9%
販売促進費	89	2.9%	108	3.3%
広告費	102	3.4%	127	3.8%
人件費・厚生費	306	10.1%	320	9.6%
経費・償却費	209	6.9%	233	7.0%
販売費及び一般管理費計	979	32.2%	1,052	31.6%
営業利益	128	4.2%	186	5.6%

営業利益の増減要因



- 国内 : 原材料価格高騰や販管費等が増加するも、売上増や価格改定等により増益
- 海外 : 売上増や運賃保管料比率の改善等により増益



セグメント別売上高の状況



- 国内 : すべての事業で増収、対前年+7.1%
- 海外 : 中国、ASEAN、米国で増収、対前年+18.9%

(単位：億円)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
合計	3,039	3,325	+9.4%
(国内)	2,440	2,613	+7.1%
健康・食品事業	478	504	+5.6%
乳業事業	660	696	+5.5%
栄養菓子事業	578	618	+7.0%
食品原料事業	111	133	+19.6%
国内その他事業	611	659	+7.8%
海外事業	599	712	+18.9%

<参考> 換算レート

22年12月期 通期実績

23年12月期 通期実績

中国 (CNY)

1CHY = 19.38円

1CHY = 19.80円

タイ (THB)

1THB = 3.72円

1THB = 4.04円

米国 (USD)

1USD = 130.77円

1USD = 140.54円

セグメント別営業利益の状況



- 国内 : 主に増収・価格改定により、対前年 + 24.1%の増益
- 海外 : 主に増収や前年における中国ロックダウンの反動増により、対前年 + 249.4%の増益

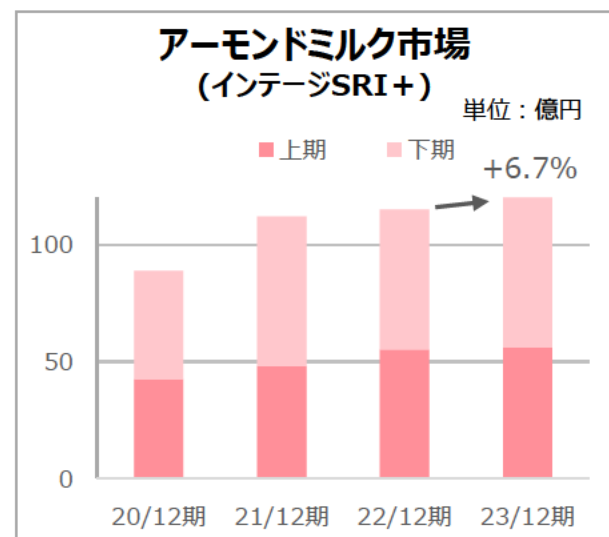
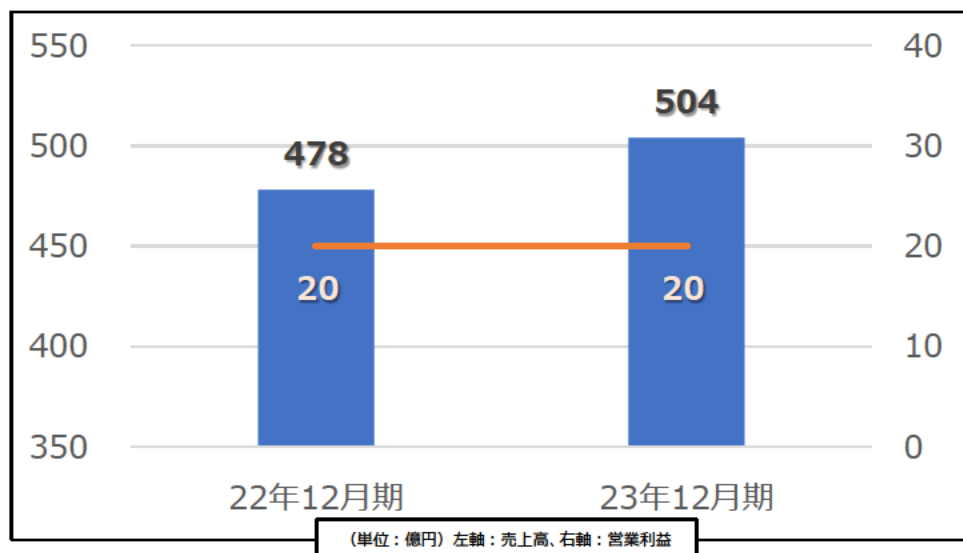
(単位：億円)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
合計	128	186	+45.0%
(国内)	116	144	+24.1%
健康・食品事業	20	20	+1.0%
乳業事業	2	5	+98.1%
栄養菓子事業	47	65	+37.3%
食品原料事業	12	24	+96.0%
国内その他事業	9	20	+125.8%
調整	24	8	▲64.7%
海外事業	11	41	+249.4%

セグメント別：健康・食品事業



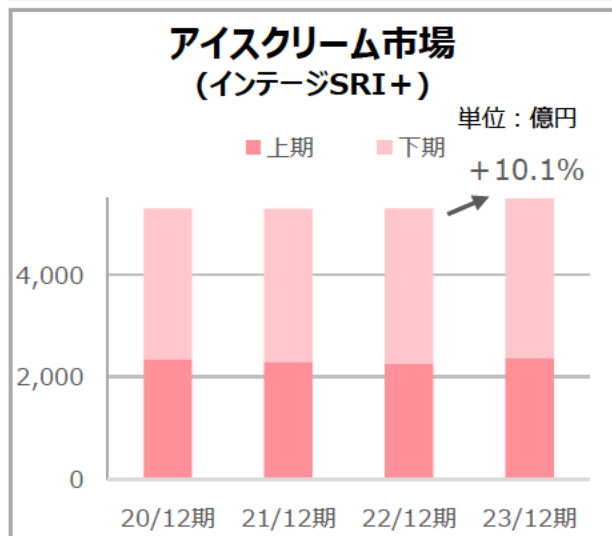
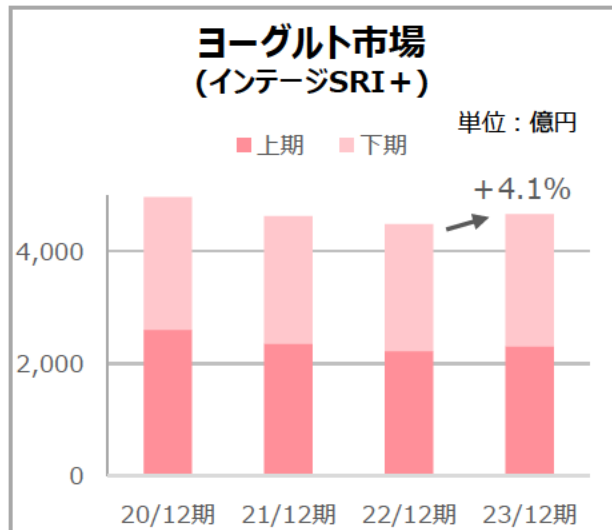
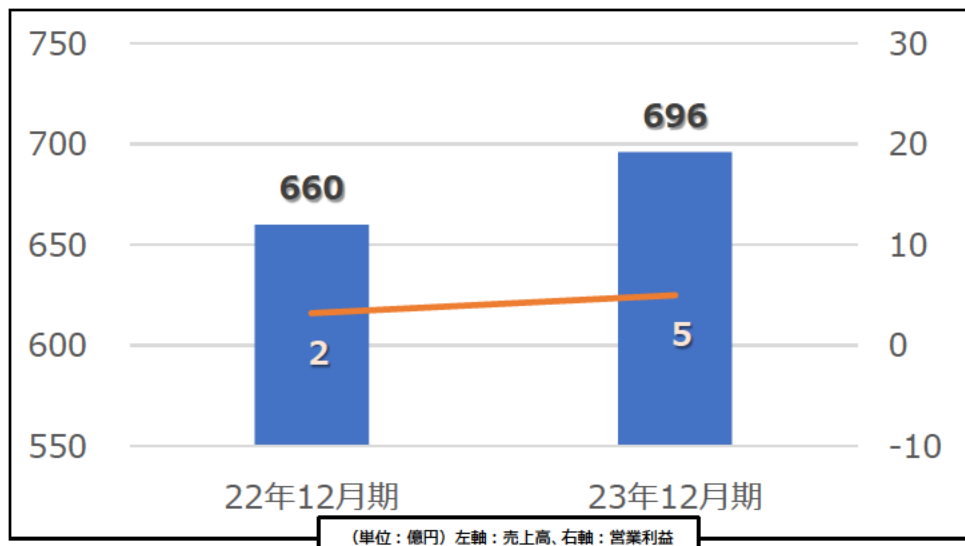
- 健康・食品事業に含まれる主なブランド：
→アーモンド効果、SUNAO、パピコ、アイスの実、DONBURI亭
- セグメント売上高：増収、対前年+5.6%の504億円
- セグメント利益：増益、対前年+1.0%の20億円
→猛暑でアイスが大きく伸長
- 商品別：パピコ、アーモンド効果等が増収



セグメント別：乳業事業



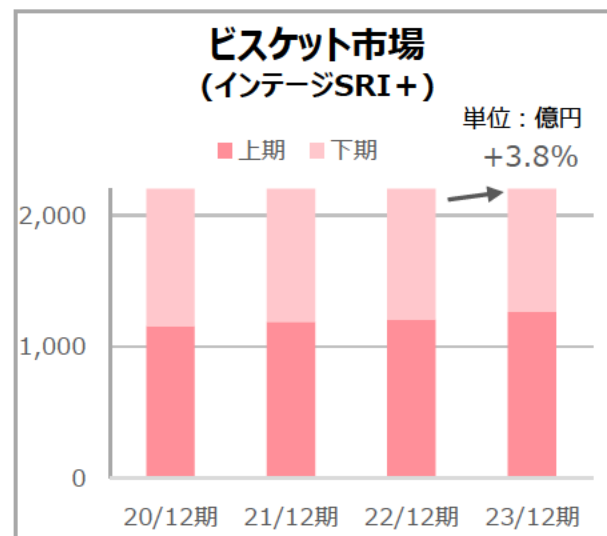
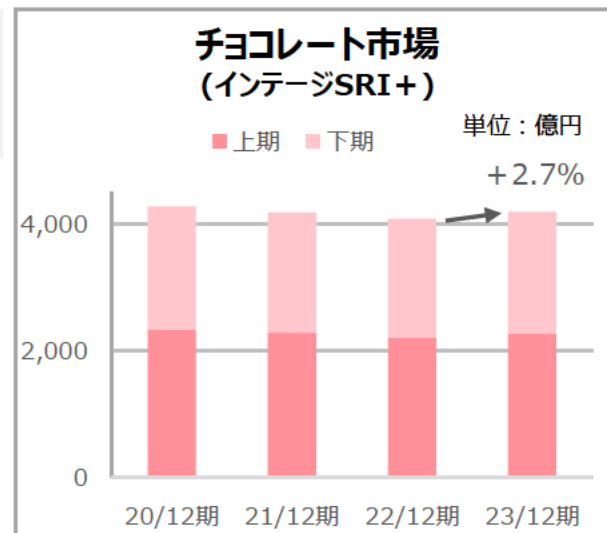
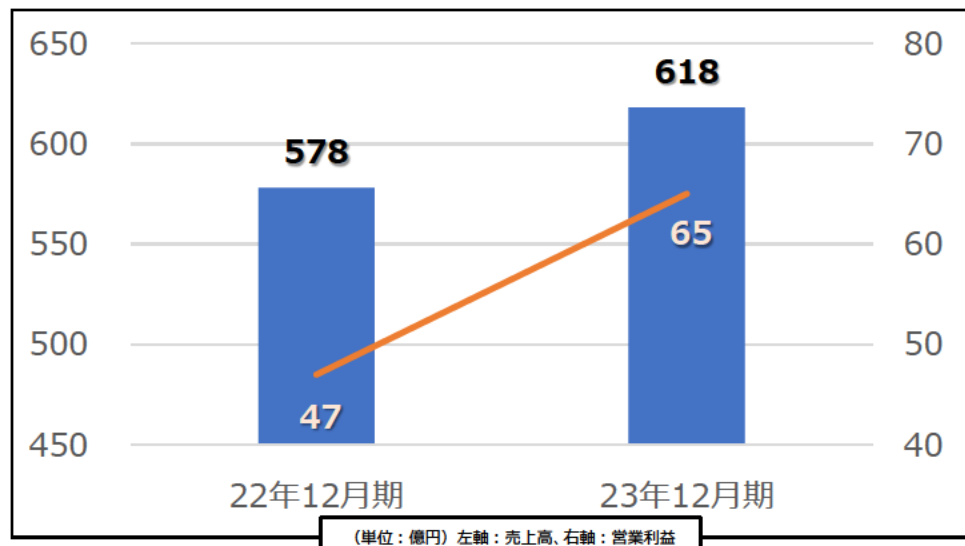
- この事業に含まれる主なブランド：
→BifiXヨーグルト、ジャイアントコーン、セブンティーンアイス、カフェオーレ、プッチンプリン
- セグメント売上高：増収、対前年+5.5%の696億円
- セグメント利益：増益、対前年+98.1%の5億円
→BifiXヨーグルトを中心に広告・販促を強化、認知向上を図る
- 商品別：ジャイアントコーン、セブンティーンアイス等が増収



セグメント別：栄養菓子事業



- この事業に含まれる主なブランド：
→ポッキー、ビスコ、プリッツ、カプリコ
- セグメント売上高：増収、対前年+7.0%の618億円
- セグメント利益：増益、対前年+37.3%の65億円
→下期のポッキー売上増、価格改定効果
- 商品別：ポッキー、プリッツ等が増収



セグメント別：海外事業



◆中国

(単位：百万元)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
売上高	1,261	1,482	+17.5%
営業利益	60	143	+135.8%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
売上高	112	131	+16.3%
営業利益	▲13	▲10	-%

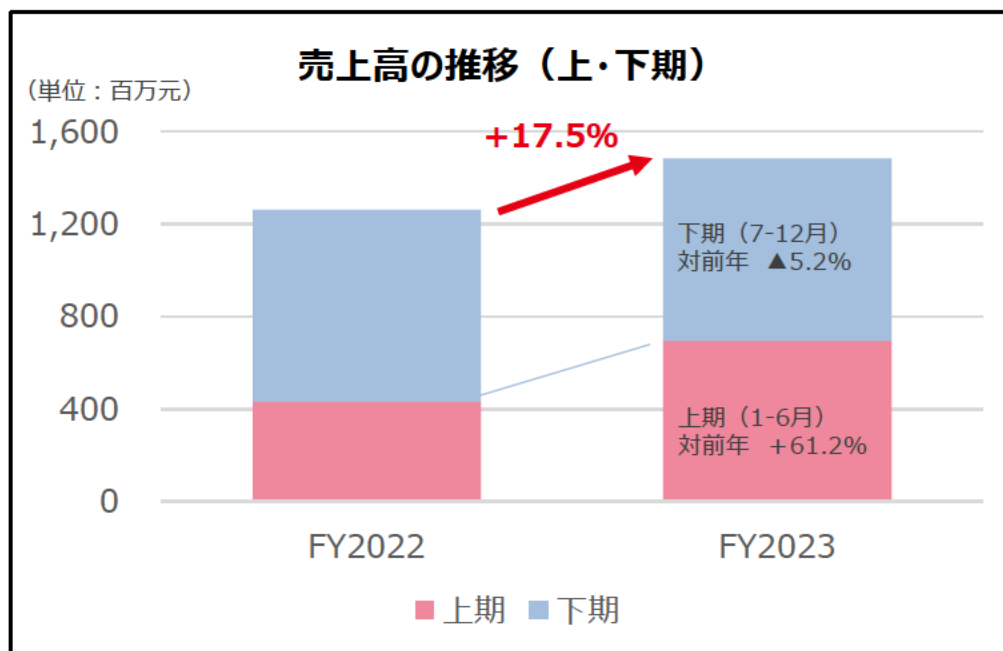
◆米国**

(単位：百万米ドル)

	22年12月期	23年12月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比
売上高	108	114	+5.5%
営業利益	17	21	+17.8%

セグメント別：海外事業（中国）

- 市場環境：ビスケット市場規模（オフライン）、対前年▲5.1%
(上期+0.8%、下期▲11.4%)
- 売上高：出荷・現地通貨ベースで14億82百万元。対前年+17.5%の増収
- 営業利益：1億43百万元。対前年+135.8%の増益
→前年3月中旬から5月末まで、上海でロックダウンが発生していたことによる反動増
- 商品別：主力のポッキー、プジョイ、いずれもシェア拡大



TT（小店）の陳列例



セグメント別：海外事業（ASEAN）

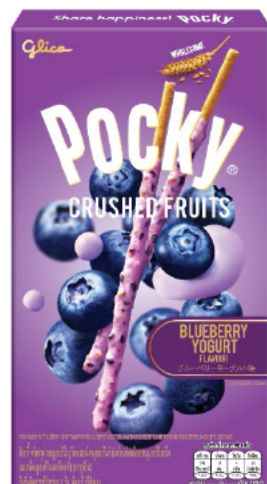


- 市場環境：ビスケット市場、タイは対前年+6.0%、インドネシアは対前年+1.6%
- 売上高：出荷・現地通貨ベースで1億31百万US\$、対前年+16.3%の増収
- 営業利益：▲10百万US\$、対前年+3.6百万US\$の改善
- 地域別：インドネシアでは、広告・販促の積極展開で下期の売上が大幅増収
タイでは、価格改定の影響で下期の売上成長が鈍化

インドネシアの新工場（GMI）で生産を開始した 高付加価値タイプの「ポッキー」新商品



クラッシュドナッツ
(インドネシア向け)



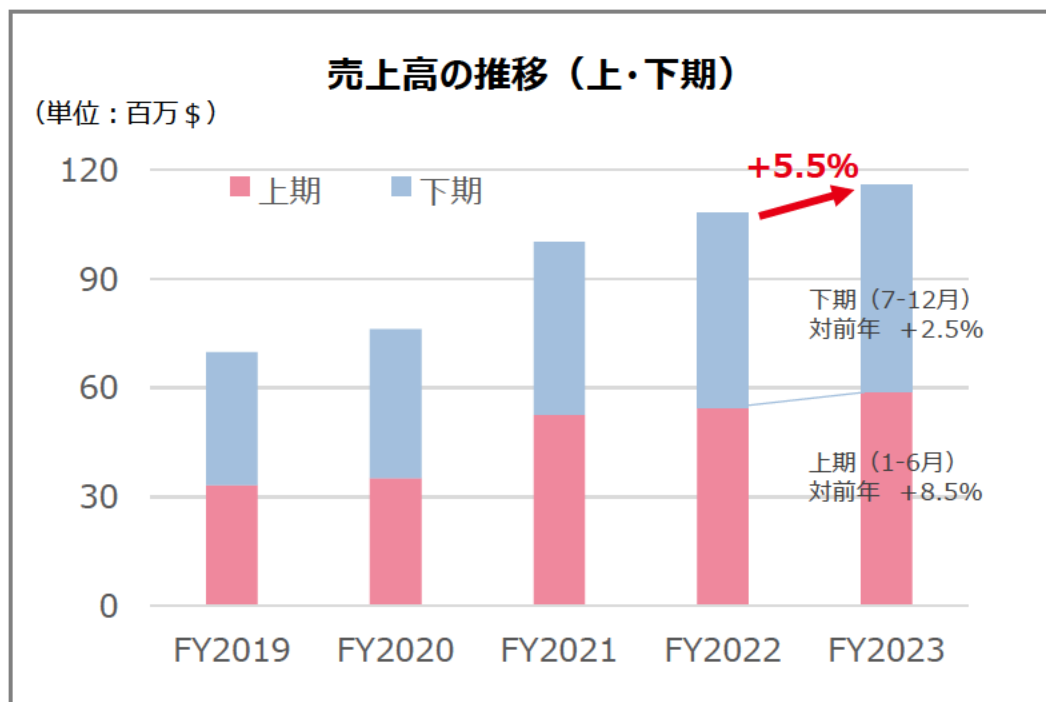
クラッシュドフルーツ
(タイ向け)

「ポッキー」夏限定商品の店頭キャンペーン (インドネシア)



セグメント別：海外事業（米国）

- 市場環境：チョコレート市場、対前年+5.8%（上期+8.8%、下期+3.0%）
- 売上高：出荷・現地通貨ベースで1億14百万US\$、対前年+5.5%の増収
- 営業利益：21百万US\$、対前年+17.8%の増益
- 商品別：主力のポッキー、各チャネルの店頭プロモーションを強化
- その他：インドネシア新工場からポッキーの輸入を開始



「ポッキー」の店頭プロモーション例



Ⅱ. 24年12月期 通期業績計画

連結業績の計画



- 売上高 : 全セグメントで売上増、対前年+5.5%の増収
- 営業利益 : 国内における基幹システム更新の費用負担により、対前年+2.0%の増益

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
売上高	3,325	3,510	+5.5%
営業利益	186	190	+2.0%
経常利益	212	215	+1.0%
当期純利益	141	150	+6.1%

営業利益率	5.6%	5.4%	—
-------	------	-------------	---

営業利益の計画



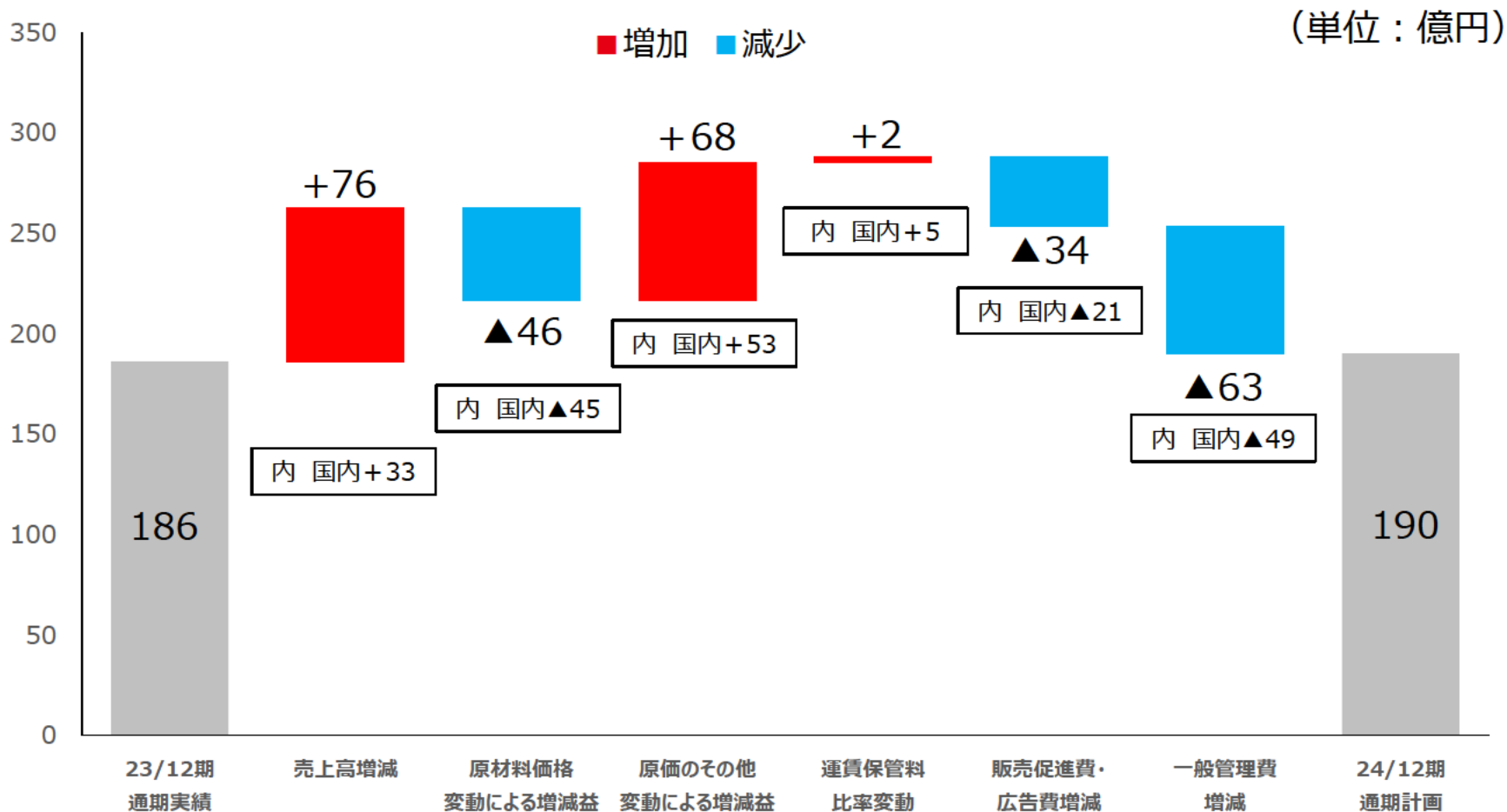
(単位：億円)

	23年12月期		24年12月期	
	通期実績	売上比	通期計画	売上比
売上高	3,325	100.0%	3,510	100.0%
売上原価	2,087	62.8%	2,158	61.5%
売上総利益	1,238	37.2%	1,352	38.5%
運賃保管料	261	7.9%	273	7.8%
販売促進費	108	3.3%	124	3.5%
広告費	127	3.8%	147	4.2%
人件費・厚生費	320	9.6%	333	9.5%
経費・償却費	233	7.0%	285	8.1%
販売費及び一般管理費計	1,052	31.6%	1,162	33.1%
営業利益	186	5.6%	190	5.4%

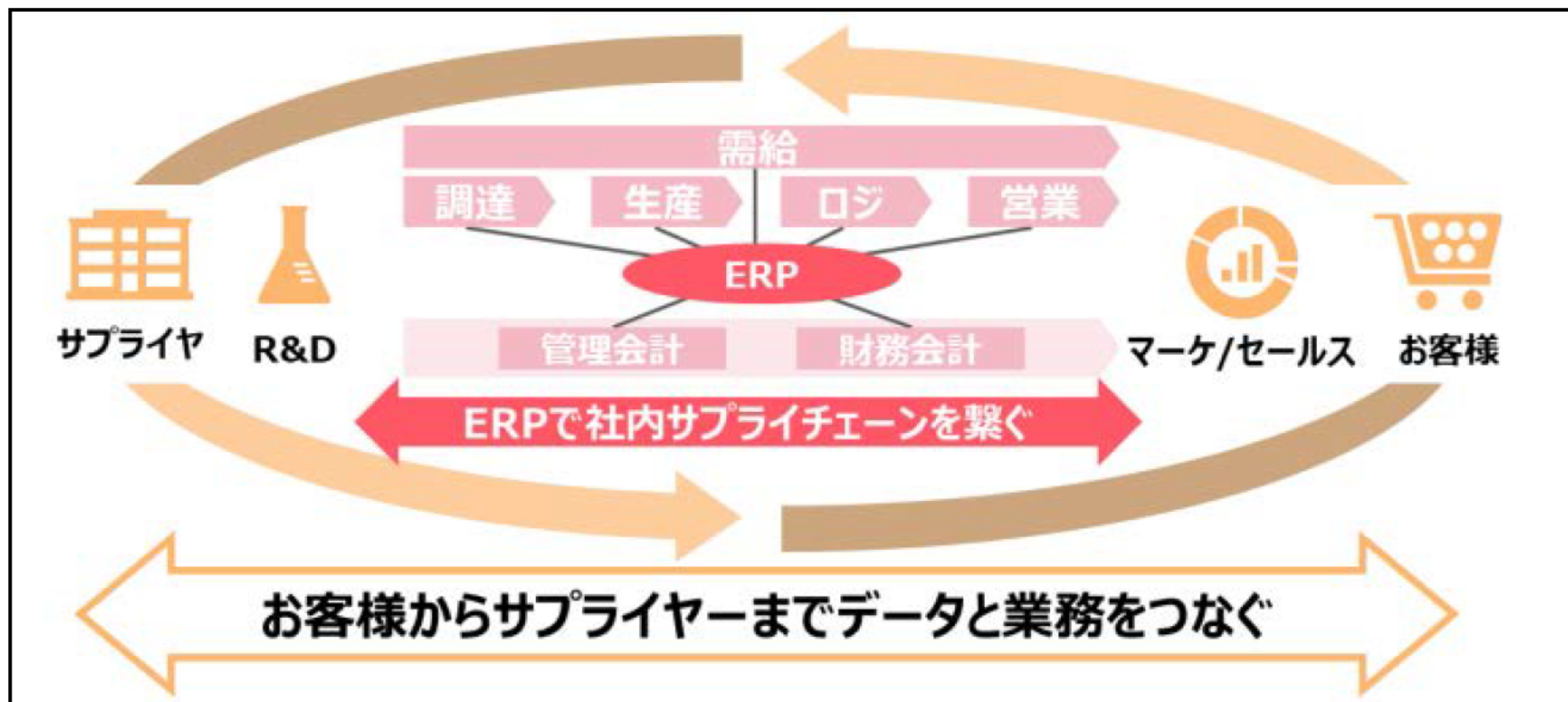
営業利益の増減要因



- 国内 : 売上増や原価率改善も、システム投資の減価償却に伴う負担増等により減益
- 海外 : 売上増や原価率の改善等により増益



今期稼働予定のERP基幹システムについて



・ERPシステム投資額：340億円（2024年4月稼働予定）

・目的と効果：

- ・業務・システムの統合・標準化、全社レベルでのデータ可視化によって、全社最適かつ迅速な意思決定を実現する
- ・さらに、お客様から研究開発、調達までデータと業務をつなぐことで、顧客（消費者）への継続的な価値創出を可能にするバリューチェーンの再構築の土台とする

セグメント別売上高の計画



- 国内 : すべての事業で増収、対前年+3.3%
- 海外 : 各地域で増収、対前年+13.7%

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
合計	3,325	3,510	+5.5%
(国内)	2,613	2,700	+3.3%
健康・食品事業	504	535	+5.9%
乳業事業	696	725	+4.1%
栄養菓子事業	618	637	+2.9%
食品原料事業	133	137	+2.6%
国内その他事業	659	666	+1.0%
海外事業	712	810	+13.7%

<参考> 換算レート

23年12月期 通期実績

24年12月期 通期計画

中国 (CNY)

1CHY = 19.80円

1CHY = 19.50円

タイ (THB)

1THB = 4.04円

1THB = 4.00円

米国 (USD)

1USD = 140.54円

1USD = 148.00円

セグメント別営業利益の計画



- 国内 : 基幹システム更新に伴う減価償却費の負担増により、対前年▲17.0%の減益
- 海外 : 売上増加により、対前年+68.0%の増益

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
合計	186	190	+2.0%
(国内)	144	120	▲17.0%
健康・食品事業	20	24	+17.7%
乳業事業	5	6	+13.4%
栄養菓子事業	65	57	▲11.3%
食品原料事業	24	20	▲13.9%
国内その他事業	20	15	▲24.8%
調整	8	▲4	-%
海外事業	41	70	+68.0%

海外事業-地域別の売上高、営業利益の計画



◆中国

(単位：百万元)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
売上高	1,482	1,666	+12.4%
営業利益	143	176	+23.2%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
売上高	123	148	+20.4%
営業利益	▲10	0	-%

◆米国**

(単位：百万米ドル)

	23年12月期	24年12月期	
	通期実績	通期計画	前年同期比
売上高	114	124	+9.0%
営業利益	21	29	+40.4%

Ⅲ. 中期経営計画の進捗について

■ 中期経営計画の骨子



■ パーパスにもとづくGlicoグループの取り組み

存在意義（パーパス）

すこやかな毎日、ゆたかな人生



ありたい会社の姿（ビジョン）

Glicoグループは人々の良質な暮らしのため、
高品質な素材を創意工夫することにより、
「おいしさと健康」を価値として提供し続けます



『習慣的に喫食いただけるような日常必需品』へ
進化することで、売上・利益の継続的な向上を図る

習慣的に喫食いただくための取り組み

- 3つの起点（研究・素材・食文化）で「おいしさ」と「健康」の価値を提供する

『習慣的に喫食いただけるような日常必需品』へ
進化することで、売上・利益の継続的な向上を図る

Glicoならではの価値としての
「おいしさ」と「健康」を両軸で進化させる

- ① 良質な素材に基づく「おいしさ」
- ② 科学的エビデンスを有する「健康価値」

- パーパス達成のために、「おいしさ」と「健康」の価値を向上させた商品・サービスが増加
→「素材起点」や「健康価値」を実装した新商品
（ポッキーカカオ60%、BifiXヨーグルトドリンク、牧場しぼり、アーモンド効果・・・）

Glicoならではの「おいしさと健康」を実装した新商品



濃く、香る
Pocky
カカオ60%

濃く、香る
Pocky
カカオ60%

ポリフェノール
403mg/袋

本格カカオの
ビターチョコレート

ポリフェノール
403mg/袋

カカオ60%^{※1}のビターチョコレートを、
生粉入りのココアプレッツェルと
合わせました。

旨やかな香りのエクアドル産カカオ^{※2}
を使ったひかえめな甘さと、
1袋でカカオポリフェノール403mg・
食物繊維入りが嬉しい本格カカオポッキーです。

※1 カカオ分60%チョコレート使用
※2 カカオマス中



BifiX
ビフィックスヨーグルト

やさしい甘さ

国産生乳を使用(製品中40%)したシンプルな配合で、
生乳由来のやさしい甘さとコクが楽しめます。
酸味や甘さが控えめで飲みやすいおいしさと
100gの飲み切りサイズで毎日続けやすいドリンクタイプです。

NEW

ドリンク
タイプが
新登場!

詳しい商品情報はこちら

商品名：ポッキーカカオ60%
販売開始：2023年9月
特徴：素材由来の「おいしさと健康」
→カカオ60%のビターチョコレート
→カカオポリフェノールと食物繊維
《ひかえめな甘さでビターな味わい》

商品名：BifiXヨーグルト ドリンク
販売開始：2023年8月
特徴：素材由来の「おいしさと健康」
→生乳を主原料としたシンプルな配合
→タンサ脂肪酸を生み出すヨーグルト
《生乳由来のやさしい甘さとコク》

Glicoならではの「おいしさと健康」を実装した新商品



商品名：牧場しぼり（リニューアル）

販売開始：2023年4月

特徴：素材由来の「おいしさと健康」

→絞って3日以内の国産生乳

→乳製品・卵黄も国産原料を採用

《《新鮮、まじりつけなしのおいしさ》》

商品名：アーモンド効果

《《3種のナッツ 砂糖不使用》》

販売開始：2023年12月

特徴：素材由来の「おいしさと健康」

→砂糖を加えず、3種のナッツの香ばしさとココ

→コビタミンE 1日分と、たっぷりの食物繊維

《《なめらかなおいしさと香ばしさ》》

中計進捗（売上高と営業利益の伸び率）



■ 2023年度は、売上高は達成、営業利益も挽回

(単位：億円)

	2021年	2022年	2023年	2024年	中期経営計画
	実績	実績	実績	計画	目標
売上高	2,925	3,039	3,325	3,510	－
前年比	－	+3.9%	+9.4%	+5.5%	年平均成長率+3～5%
営業利益	193	128	186	190	－
前年比	－	△33.5%	+45.0%	+2.0%	年平均成長率+5～10%

- 売上高：年平均成長率・各年率ともに達成の見通し
- 営業利益：2022年は、原材料価格高騰、中国上海ロックダウン等影響で未達
2023年は、価格改定効果、国内外の売上利益の増加で改善
2024年は、基幹システム更新の影響により、対前年+2.0%の見込み

- Glicoならではの「おいしさと健康」の価値を高めた商品・事業を継続的に創出し、お客様の日々の生活になくてはならない企業として、中長期の成長を実現する

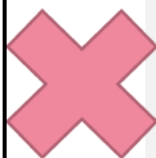
存在意義（パーパス）

すこやかな毎日、ゆたかな人生



ありたい会社の姿（ビジョン）

Glicoグループは人々の良質なくらしのため、高品質な素材を創意工夫することにより、「おいしさと健康」を価値として提供し続けます



■ 価値創造による利益創出

- ・中計戦略の着実な実行
- ・注力領域の強化と収益性向上
- ・成長投資（研究開発、人財、デジタル）の加速
- ・資本収益性を高める施策の推進

■ 経営基盤のアップデート

- ・コーポレートガバナンスの向上
- ・サステナビリティの推進
- ・利益成長に応じた株主還元の実施
- ・ステークホルダーとのエンゲージメントの推進

価値創造による利益創出によって
持続的なROE、PBRの向上を目指す

※ 補足資料

事業セグメントの分類 (売上高)



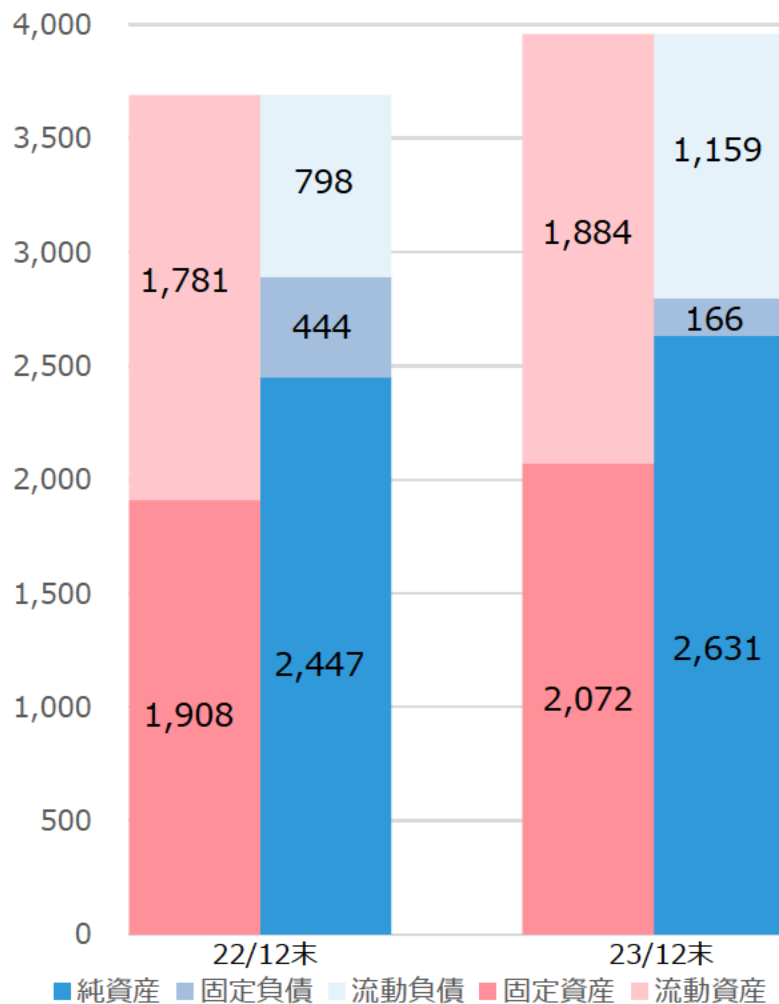
(単位：億円)

セグメント	分類	22年12月期				23年12月期				24年12月期	
		1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	通期計画	前年同期比
健康・食品 事業	健康	27	60	96	128	28	61	96	127	150	+17.6%
	アイスクリーム	23	73	149	177	26	81	176	209	220	+5.1%
	その他	40	80	126	172	39	76	119	168	165	▲1.8%
	計	91	215	373	478	94	218	391	504	535	+5.9%
乳業事業	発酵乳	30	62	93	123	27	59	91	120	130	+7.9%
	アイスクリーム	45	118	207	258	49	127	227	286	300	+4.9%
	その他	64	134	207	278	65	136	215	290	295	+1.6%
	計	140	315	509	660	142	323	534	696	725	+4.1%
栄養菓子 事業	チョコレート	81	157	218	330	85	162	230	357	370	+3.4%
	ビスケット	44	93	144	195	43	95	147	202	210	+3.6%
	その他	11	24	39	52	12	27	44	58	57	▲2.1%
	計	137	274	402	578	142	285	421	618	637	+2.9%
食品原料事業		22	52	83	111	26	62	99	133	137	+2.6%
国内その他事業		129	286	466	611	136	303	500	659	666	+1.0%
海外		132	246	424	599	167	337	517	712	810	+13.7%
合計		654	1,391	2,259	3,039	710	1,531	2,465	3,325	3,510	+5.5%

貸借対照表の状況

■ 自己資本比率：66.2%(2022/12末) ⇒ 66.3%(2023/12末)

(単位：億円)



資産の部 主要勘定科目		22年12月末	23年12月末	前年 同期比(額)
流動資産	現金及び預金	917	971	+54
	受取手形及び売掛金	453	484	+30
	有価証券	2	-	▲2
	棚卸資産	328	338	+9
	流動資産合計	1,781	1,884	+102
固定資産	有形固定資産	1,100	1,114	+14
	無形固定資産	216	269	+52
	投資有価証券	392	468	+75
	固定資産合計	1,908	2,072	+163

負債の部・純資産の部 主要勘定科目		22年12月末	23年12月末	前年 同期比(額)
流動負債	支払手形及び買掛金	364	383	+18
	短期・長期(1年以内)借入金	-	-	-
	転換社債型新株予約権付社債	-	300	+300
	流動負債合計	798	1,159	+361
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	300	-	▲300
	長期借入金	-	-	-
	固定負債合計	444	166	▲277
純資産	株主資本	2,210	2,300	+90
	純資産合計	2,447	2,631	+183

キャッシュフローの状況

(単位：億円)

	19年12月期 通期実績	20年12月期 通期実績	21年12月期 通期実績	22年12月期 通期実績	23年12月期 通期実績
営業活動による キャッシュフロー	173	172	286	168	280
投資活動による キャッシュフロー	▲90	▲124	▲291	▲201	▲86
FCF (フリーキャッシュフロー)	83	47	▲5	▲33	194
財務活動による キャッシュフロー	▲96	▲97	▲48	▲102	▲61
現金及び現金同等物の 期末残高	980	924	894	799	946

設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位：億円)

	21年12月期 通期実績	22年12月期 通期実績	23年12月期 通期実績	24年12月期 通期計画
設備投資額	165	183	118	122
システム投資額	69	70	61	61
減価償却費	142	138	140	170
研究開発費	50	51	59	66

※23年12月期 通期実績の設備投資額を「118」に修正



1. 環境への取り組み

- ・Glicoグループ環境ビジョン2050を公開（2021年3月）
- ・食品、飲料企業5社の段ボール原紙の共同調達に参加、サプライチェーン全体の生産効率化および環境負荷の軽減を目指す
- ・令和5年度「物流パートナーシップ優良事業者 特別賞」に選定（国土交通省・経済産業省「グリーン物流パートナーシップ会議」より）
- ・世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）が掲げる「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画



2. 社会への取り組み

- ・東洋経済「障がい者雇用率が高い会社」ランキング29位、食品業界1位（東洋経済新報社「CSR企業白書」2023年版、「CSR企業総覧（雇用・人材活用編）」2023年版より）
- ・企業や団体の LGBTQ+（セクシャルマイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、「ゴールド」を受賞（江崎グリコ、グリコチャンネルクリエイト、グリコ栄養食品は2年連続、グリコマニュファクチャリングジャパンは初受賞）
- ・国際協力機構（JICA）の「開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム」に会員登録、「児童労働の撤廃に向けたセクター別アクション」に賛同表明



3. ガバナンスへの取り組み

- ・半数の社外取締役の監督下において経営を実施
- ・コンプライアンス対応：ホットライン窓口の設置
- ・「健康経営優良法人～ホワイト 500～」に認定（江崎グリコは3年連続、グリコマニュファクチャリングジャパンは2年連続、グリコチャンネルクリエイトは初認定）

TTM為替レート



		米ドル	ユーロ	タイバーツ	中国元	100韓国ウォン	100インドネシアルピア
		USD	EUR	THB	CNY	100KRW	100IDR
2020	3/31	108.83	119.55	3.34	15.31	8.92	0.67
	6/30	107.74	121.08	3.49	15.23	9.00	0.76
	9/30	105.80	124.17	3.34	15.54	9.08	0.72
	12/31	103.50	126.95	3.44	15.88	9.52	0.74
2021	3/31	110.71	129.80	3.54	16.84	9.78	0.77
	6/30	110.58	131.58	3.44	17.11	9.78	0.77
	9/30	111.42	129.11	3.26	17.15	9.37	0.73
	12/31	115.02	130.51	3.43	18.06	9.73	0.81
2022	3/31	122.39	136.70	3.68	19.26	10.13	0.86
	6/30	136.68	142.67	3.85	20.38	10.52	0.92
	9/30	144.81	142.32	3.81	20.37	10.12	0.95
	12/31	132.70	141.47	3.80	19.01	10.55	0.85
2023	3/31	133.53	145.72	3.91	19.42	10.31	0.89
	6/30	144.99	157.60	4.07	19.94	11.00	0.97
	9/30	149.58	158.00	4.09	20.46	11.11	0.97
	12/31	141.83	157.12	4.13	19.93	11.05	0.92

【注意事項】

- * この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取り組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- * そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。
- * なお、当資料に記載する金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

«お問合せ先»

江崎グリコ株式会社 株式・IR部

TEL : 06-6477-8167

E-mail : ir-division@glico.com